

# 日本拳法道連盟 風門館



日本拳法道連盟 五段  
豊前福光派古術 免許皆伝

## 福光 三郎左衛門 進

### 演武者

日本拳法道五段  
豊前福光派古術免許皆伝

福光三郎左衛門 進

日本拳法道二段  
豊前福光派古術四段

田 中 康 司

日本拳法道三段  
豊前福光派古術三段

福 山 順 平

日本拳法道二段  
豊前福光派古術二段

濱 野 光 司

日本拳法道初段  
豊前福光派古術初段

太 田 陽 介

日本拳法道初段  
豊前福光派古術初段

谷 口 健

日本拳法道三級  
豊前福光派古術三級

南 慎太郎

### 日本拳法道とは

防具付き総合格闘技の雄たる日本拳法（関東・日本拳法協会系）の術技・乱取り競技法をベースに新たに編成された新興武道である。拳法道根幹術技であるところの直突・直蹴をもつて他流試合にのぞみ、且つ直進・直撃の気風を重んじる、九州福岡発祥の流派である。

特徴・日本拳法道は、打撃。組み討ち・寝技（ただし10秒制限ルール）の全てを含み、軽量防具仕様を使用し、安全かつ実戦的な他流試合を行うところにその特徴がある。日本拳法との違いは、日本拳法では禁止手となつていないローキック・ハイキックの実撃、足関節、締めなども有効技とされ、極めて禁止手の少ない乱取り競技法を設定している点にある。また、その大会もオープントーナメントであり、禁止事項がほとんどないために自分の出身母体の武道・格闘技の技術がほとんどそのまま使えるという画期的な乱取り競技法を採用しているところに大きな魅力がある。過去20年以上にわたつて、各派空手、拳法、キックボクシング、柔道、ブラジリアン柔術、アマレスなどと他流試合を行つて来た結果、本流儀は源流の日本拳法からは幾分技術的に乖離した部分も多くなつてはいるが、最短距離を最速の拳で打ち抜くことを理想とする拳風は、未だに衰えることはない。日本拳法がキック化するところなるだろうと言うのが一番分かりやすい説明かも知れない。

技術思想・日本拳法道は、護身の術という思想を根本に持つている。「路上の現実」においてもつとも有効な技術とは何か、それを絶えず視点に置いている。従つて、多人数をも想定しているために寝技中心の総合格闘技ルールとは一線を画した競技法を設定している。寝技制限10秒の思想的根拠はそこにある。ここを理解できないと、日本拳法道の真価が理解できないのではなからうか？

昨今、寝技中心の総合格闘技隆盛を極める中、打撃系総合格闘技にこだわるゆえんである。なぜなら、寝技中心とは、相手が単数という条件下においてもつとも優れた戦闘法であるからである。総合の中でも、日本拳法道は特異な存在であるかも知れない。

# 夢想神伝流 久留米支部

夢想神伝流 範士八段



野口 絹子

居合は、敵の不意の攻撃に対し一瞬をおかずに居合わせて、抜刀して敵に勝つ鞘離れの一刀で勝負を決める剣技である。

その起源は古く、平安時代にその源が在り、始祖は、林崎甚助重信（山形県村山市に林崎神社あり）で、十六代中山博道（昭和三十三年没）氏に師事された故 末次留蔵先生・故 古賀岬先生（全国居合道連盟副会長）から、現代の九州居合道は夢想神伝流につながり、更に、基を一つにしている長谷川無双直伝英信流がその主軸をなしている。

初伝（正座） 十二本、中伝（立膝） 十本、奥伝（立膝・立業） 二十一本、合計四十三本に隠し技四本が加わる。勿論形だけが、すべて実践に即して行われる。

殺気を感じるや、素早く抜刀、顔面に心気を充実させ、一刀必殺の鋭さで斬りつける。如何に相手を瞬時に斬り倒すかが、居合の宿命である。

更に相手を倒した後も相手に心を残す「残心」という。ことも大切である。また、納刀に移る時や刀を納め終わった時でも、油断のない心と敵に対する姿勢や態度を崩さない心構えまでも重要とされている。

## 演武者

範士八段	野口 絹子
八段	窪山 強一
七段	北川 俊輔
五段	池上 修三
五段	山田 英俊
三段	大内 美枝子

# 金輪流鎖鎌術 古武道武心会



金輪流鎖鎌術

二十二代宗家

幸田 宏

当流派は、清和天皇の皇太貞純親王真伝といわれており、竹内本覚坊を祖としております。

流儀の特徴は、鎖鎌の鎖を柄の先端（鎌の反対側）につけ、長さ一尋とし、鎌柄の中程を右手にて切っ先を前に、刃を小指側（鎌を下に逆手）に握ります。

伝承形として、一刀合三本・二刀合三本・長刀合五本・槍合五本があり、他に鎖を用い玉棒五本・長鎌五本・提ヶ杖五本・総数六十余手、現存する鎖鎌流派の中にありとも他に例をみないものです。

福岡藩のお留め流で、近年まで一子相伝となっていました。

平成六年六月二十一代宗家「幸田良宏」亡き後、長男「幸田宏」が二十二代宗家を継いでおりますが、宗家は東京在住の為、次男の「幸田良」にて相伝家として福岡の地で古武道保存と流儀を継承すべく、研鑽、精進を重ねて今日に及んでいます。

演武者

金輪流鎖鎌 相伝家

幸田 良

夢想神伝流居合 教士八段

菊本 康博

神道夢想流杖術 錬士六段

野口 晋祐

幸田 美志

# 龍神流 合氣道



龍神流 合氣道

三代目宗家

西津 龍心齋

龍神流合氣道は、昭和三十四年西津敏春（初代西津龍心齋）によって創立されました。龍神流合氣道の名前は、彼が修行した北九州市小倉南区菅生の龍神の滝に由来します。

北九州市戸畑区一枝に、最初の道場を構えて六十年以上の歳月が流れました。このように長い間道場を続けられたのも、皆様のご支援に支えられてのことと、深く感謝しております。

昨今、ニュースなどで痛ましい事件を耳にするたびに、龍神流合氣道を通じて護身術を身に着けていれば、災難から逃れることができた方がいたかもしれないことを思い、一人でも多くの方々にこのような技があることを知っていただきたいと思っております。

龍神流合氣道は合氣道のみではなく、打撃・短刀・木刀等に対応できる様々な技を指導しております。演武会をご覧になつて興味を持たれた方は、体験入門していただければ、幸いです。



## 演武者

代表	西津龍心齋	大島陽莉	大島葵	中村美琴	田村倅将	田村一真	大島千恵	中村祐美	一級	田村恵美子	轟晃成	初段補	浦江希	浦江つぐみ	初段補	小山田弥勲	初段	長田勇輝	二段	國實冬馬	準師範	浦江卓司	宗家	西津龍心齋
----	-------	------	-----	------	------	------	------	------	----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	----	------	----	------	-----	------	----	-------